

たかす議会だより

2024年8月5日発行

あした

No. **195**

令和6年6月定例会号

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 松平さくら



特集

鷹栖高校生徒会との
語ろう会の様子はP 2.3へ

特集

鷹栖高校生徒会 + 町議会



6月11日に鷹栖高校の生徒会の皆さんと語ろう会を実施。町内出身者2名を含む6名の生徒と高校生活について話しあいました。

議会と高校生の距離感

事前アンケート結果

回答 生徒会6名

- ①知っている議員はいますか？
いる 1名 / いない 5名
- ②今まで、議会報を読んだことがありますか？
ある 1名 / ない 5名

これまで議会では広報広聴活動を通じて議会に興味を持ってもらうことに取り組んできました。

しかし、若い世代にはまだまだ議会活動が身近に感じられていないことがアンケート結果からも確認できました。

では、高校生がまちづくりに関心がないのかというと、今回の語ろう会を通じて、そうではないことが見えてきました。

町とつながることに意欲的な高校生の姿

生徒会では「冬もスカートの着用を認めてほしい」という生徒の声を学校に届け、校則の見直しに取り組むなど学校の規模で、民主主義を実践されています。

Interview Takasu

生徒会の皆さんには「みんなで作るまちづくり」の根っこが育っているように感じました。一方、学校生活で課題に感じたことは高校のなかだけで解決を目指し、町に声を届ける意識を持つことがなかったと語っていました。町長講話や介護初任者研修など鷹栖高校の特色あるカリキュラムには魅力を感じているものの、町とのつながりはまだまだ薄いように感じるとのことでした。

今回の話し合いを通じて、議員の方の思いや考えていることを知ることができました。私達高校生の考えも聞いていただき、意見交流ができたのでよかったです。個人的にも課題に感じていたバスについてもしっかりと話し合うことができ、有意義な時間となりました。



会長 三箇 葵さん



〈もくじ〉

4 第2回定例会

不登校対策新たな試み始まる

6 5名が一般質問

青野・川原・片山・林川・舟根

12 委員会レポート

常任委員会3か月の動き

《 語ろう会ご案内 》
8月9日(金) 13:00-
場所：四季の里

14 追跡レポート

部活動の地域移行

15 議会の動き

臨時会 PICK UP

16 わたしの一言

第3回定例会お知らせ



過去の議会報「孔雀草」
で関連のある記事を表示
しています。

くじやくそら

クイズ 商品券1000円分が
抽選で3名に当たる

○に当てはまる言葉を入れてください。
答えはこの議会報「孔雀草」の中にあ
ります！

問1 物価高に対応し、〇〇減税がはじ
まりました。

問2 議会だより孔雀草が北海道町村議
会〇〇コンクール特選を受賞しました。

問3 今年度、部活動の〇〇〇〇〇〇が
地域移行を始動しました。

応募方法などは裏表紙に
記載しています



ウェブでも回答できます ▶



Interview Takasu

直前まで緊張していましたが、実際
に話してみると楽しく、いち生徒と
して意見を伝えることができました。

特に私は旭川から通学しているの
で、バスについての議論は非常に有
意義でした。また、夏の期間は自転
車で通学しているため、いつ現れる
かわからないヒグマに関する議論も、
深く意見交流することができました。

副会長 千葉 健太郎さん

通学のバス、少なさに不便
を感じています



入学者減少への危惧、高校生が
利用する公共施設や商店の話題、
出没が増えているヒグマについて
対応を議論するなど短い時間の
中、校内外について意見を交換す
る場面が多くありました。

により、待ち時間が長いという共
通の思いを抱いていました。
他校の生徒も乗る登校時のバス
は混雑時に乗車できない時もある
ことや、検定などで土日に通学す
る際、バスが運行していないこと
など不便を感じていました。
「もしや〜ヒグマレポートができた」
という言葉も聞かれました。
課題を町に伝える手段が十分に
活用されてこなかったことは、議
会として、しっかりと受け止めな
ければいけません。

高校生議会報モニターへ

議会と鷹栖高校の交流を継続す
るため、生徒会の皆さんには、年
4回定例会ごとに発行している議
会報のモニターになっていただ



き、関心のある議案への意見をい
ただいたり、高校生世代にも届く
議会報づくりへのアイデアをいた
だく予定です。
これからも、どなたにとっても
声を届けやすい議会になっていく
ことを目指していきます。

2024年第2回定例会

不登校対策 新たな試み始まる

補正 総額1億5794万円の増額補正 一般会計補正予算(第2号)



Interview Takasu

教育大学の先生方とさまざまな課題を共有し、密な連携をしながら沢山の子どもたちにより良い支援の手が届くようにしていきたいです。



スクールソーシャルワーカー 小島 聖子さん

一般会計の今年2回目の補正予算を行いました。

低所得者支援・定額減税補正給付金8996万円、畑地化促進事業費3537万円などを含みます。

1億5794万円の増額補正を全会一致で可決しました。

不登校傾向の児童の支援を強化

不登校の未然防止を図るため、北海道教育大学旭川分校准教授などの外部人材に協力してもらいます。学校、スクールソーシャルワーカー、スクールカウ

定例会のあらまし

2024年第2回定例会は6月20日(木)～21日(金)に開催しました。

1日目は5名の議員が一般質問を行いました。
2日目は鷹栖町土地開発公社ほか2件の報告、条例改正の専決処分ほか1件の承認、7件の条例の一部改正、令和6年一般会計補正予算、学校パソコン購入の単行議決ほか1件、人権擁護委員の推薦の諮問1件などを審議し、原案通り全会一致で可決しました。



議案一覧はこちら

ンセラーなどと連携し、専門性を生かした児童生徒支援を行う予定です。

当面は中学校を中心に、週3回程度、相談支援や活動・学習支援などを行ってまいります。

児童生徒健全育成事業 70万円

安達議員 趣旨を考える
と常勤が望ましいのでは。

教育課長 年度途中のため時間給職員ですが、推移を見守りながら、常勤職員の雇用も検討していく考えです。

青野議員 学校やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどの情報共有が必要では。

教育長 学校を起点に連携しますが、教育委員会としても関係機関を集め情報共有しながら進めます。

総務文教常任委員会
委員会では次の点を確認しています。

- 将来的に小学校にも拡げていく考えがあること。
- 事業の経過は必要に応じて委員会で報告をすること。

郷土資料館の 来館者増加に対応



郷土資料館 所蔵の馬の装蹄用具等が登録有形民俗文化財に登録され、来館者が増加しているため、開館日を拡充します。

現在 水曜日・土曜日

夏期7月・8月と冬期12月・1月は日曜日も開館

管理人費 10万円

社協への委託料 消費税分を補てん

社会福祉事業を非課税と誤認していたため、5年分の消費税の補てんを追加補正しました。

1165万円

また、町外からの来館者にわかりやすいよう10号道路沿いに案内看板を設置します。

看板設置費 109万円



現在の看板は道路から見えにくいいため看板を新設します

【経済福祉常任委員会】
委員会では次の点を確認しています。

○委託の場合、消費税が発生しています。
直営で行なうことにより消費税分が削減となり、行財政改革につながるため検討すること。

承認 定額減税 関係条例を承認

鷹栖町税条例・鷹栖町都市計画税条例

国が進める定額減税について、1人当たり1万円の道民税を減額します。定額減税をしきれない世帯や新たに均等割のみ非課税となった世帯に給付金が支給されます。
また、固定資産税のわがまち特例などを見直す条例の専決処分を承認しました。

定額減税分 2665万円
給付分 8996万円

内閣官房ホームページ「新たな経済に向けた給付金・定額減税一帯措置」

あなたはどこの 所得区分に該当しますか

所得区分	高所得者	1万円分 定額減税者	減額が 1万円未満 納税者	R6 新たに 住民税 均等割者	R6 新たに 住民税 非課税者	R5 住民税 均等割者	R5 住民税 非課税者
対象者見込	数名	4200人	1200人	100世帯	200世帯	176世帯	867世帯
単価		1万円 /人	1万円未満 /人 +給付金	10万円 /世帯	10万円 /世帯	R5に 給付済	R5に 給付済
補正額 (万円)		2565	100+ 1400	1000	2000		

意見書 意見書3件を 関係機関に提出

2023年、森林環境譲与税を森林の多い市町村に重点配分するよう意見書を提出し、改善が進みました。今回も「ゼロカーボンの実現」、「地方財政の強化」、「義務教育の拡充」を目指し、意見書第5〜7号を関係機関へ提出しました。

意見書全文はこちらでお読みいただけます



諮問 人権擁護委員に 紺野弘克さん再任

人権擁護委員の推薦について諮問を受け、適任と答申。任期は2027年9月30日までです。







紺野 弘克さん
2012年から人権擁護委員を務めています

次は5名の議員が一般質問



傍聴者は10名

質問議員	質問内容	総合振興計画での位置づけ	頁
青野 敏	超高齢化社会への施設の在り方は	 「生涯元気に活躍できるまち」 施策⑧	7
川原 允	10年間の子ども施策 成果と課題	 「希望を叶えるあたたかな出 産・子育て支援」 施策⑥	8
片山 兵衛	文化財登録を観光振興の契機に	 「資源を生かした観光振興」 施策⑫	9
林川 伸二	町内会の課題解決に支援を	 「住民参加と連携によるまち づくり」 施策⑰	10
舟根 輝好	町政3期の実績と次期への意向は		11

一般質問の内容と関連する第8次鷹栖町総合振興計画の施策を記載しています。
総合振興計画は右のQRコードからも確認できます。



5名の議員が町政を問う

一般質問

争点の提起



一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。鷹栖町議会では一般質問を議員個人のものではなく、政策資源として活かすことを目指しています。

定例会2日目終了後、初めての試みとして一般質問の反省会を行いました。発言の文字起こし原稿を確認しながら、うまくいかなかったところを指摘し合い、よりよい質問を目指すことが目的です。

答弁によっては委員会ですらに調査しようという話にもなり、一般質問を議会の政策資源として活用することにつながる可能性も感じました。

反省会にあたっては傍聴者の方に書いていただいた通信簿も参考にしました。参加した議員からは好評です。今後も続けていく考えです。

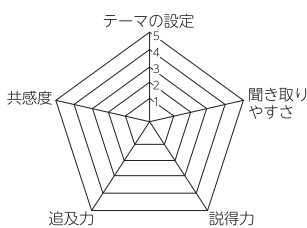


事前の勉強会も継続しています



こちらから質問内容を紹介した動画をご覧ください

通信簿の評価



一般質問の通信簿の結果は平均点をレーダーチャートで掲載しています

超高齢化社会への施設の在り方は

町長 2030年度までの施設整備をさつき会と打ち合わせ

「地域包括ケア」とは、高齢者などの生活上の安心や健康を確保するために、医療や介護、福祉サービスなど、さまざまな生活支援サービスを地域住民に提供する体制のことです。



「そよかせ団地」の高齢者向け住宅は見守りが充実されており、利用者の安心につながっています

高 齢者福祉および介護保険事業の現状と課題は、将来の超高齢化社会に備えて、地域包括ケアシステムにおける地域支援事業などの、さらなる充実強化が必要では。

町長 在宅支援の充実や社会参加の促進など、多岐にわたる課題を抱えており、地域社会全体で支え合う共生社会の実現に向けた取り組みが必要です。高齢者の生活状況を把握し、元気に豊かな生活を送

れるよう、地域包括ケアシステムの体制の充実に努めます。

質問 住み慣れた自宅での生活を営む環境が最適ですが、それを維持するのが大変難しくなることも想定されます。

町長 最後のセーフティネットである高齢者専用住宅やサービス付高齢者住宅、特別養護老人ホームなどを利用した生活環境について、将来を見据えた考えは。

町長 現在、鷹栖地区に団塊の世代の受け入れも視野に入れ、公営住宅の建築を計画しています。住み慣れた家で安心して暮らせるよう、生活支援の体制や地域づくりも進めていきます。

質問 公営住宅は、見守りや訪問介護などを一体的に計画するべきでは。

町長 管理人は置きませんが、まちなか新団地はさつき会の施設とも距離的に近いので、生活しやすい状況になると考えます。

質問 介護施設を取り巻く環境としては、人材不足や諸経費の高騰などで、入居者の受け入れが困難になる、事業を縮小しなければならなくなる、さらには運営自体が大変厳しい施設もあると聞いています。

町長 人材の確保は奨学金制度や外国人の人材育成支援、鷹栖高校の介護職員初任者研修事業、生涯現役地域づくり環境整備事業など、さまざまな取り組みを通して、積極的に進めていきます。

町長 また、町内の施設ですべての町民を受け入れることは困難なため、従来と同様に旭川市など圏域の状況を

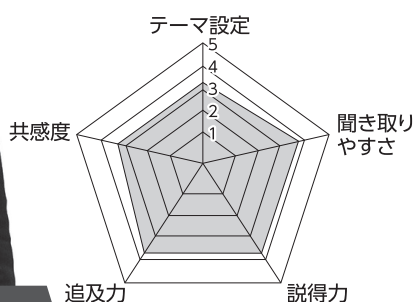
見据えた福祉サービスや在宅サービスなども重要と考えています。

さつき会は築40年弱経過しています。さつき会とは、将来を見据えた施設の在り方を2021年度から情報交換してきました。

2030年度までには施設整備を行うよう打ち合わせしています。入所者数も現在の50人より多く計画しようと考えています。



あおの さとし **青野 敏** 議員



10年間の子ども施策 成果と課題

町長 希望をかなえるあたたかな出産、子育て支援に努める



妊娠期から18歳までのお子さん育てる「子育て世代」のみなさんの総合的な相談窓口です。プライバシーが保たれる個室で、ゆっくりとお話しながら相談をお受けしています



子育て世代包括支援センター
サンホールはびねす内
TEL: 0166-87-2112

反映させるために必要な措置を講ずることが義務付けられています。

子ども子育て支援計画第3期ではどのように子どもや若者の意見を聴いて施策に反映しますか。

町長 小学生はふるさと共育、中学生は生徒会へのヒアリング、高校生はまちラボハイスクールで丁寧に聞き取りし、こどもの意見を取り入れた計画にしていきます。

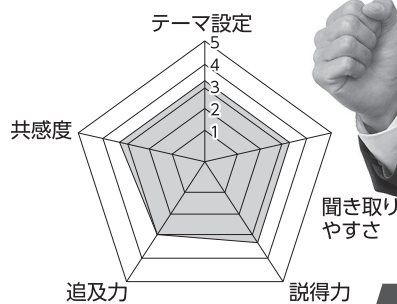
時は現地調査を行い、迅速に注意喚起を行います。近年では毎年1頭捕獲している状況です。

鷹栖町の森林では数頭のヒグマが生息していることは確認されており、ヒグマとの軋轢を減らし、安全に共生できる環境づくりを目指します。

質問 市街地での住民とヒグマの接触をどのように予防しますか。また緊急時、警察や関係機関との協議の状況は。

町長 地理的状況を考慮すると鷹栖市街地に出没はしない状況であり、北野市街地に出没する可能性も極めて低い状況と分析しています。

しかし、嵐山から北野市街地が河川敷でつながっています。



かわはら まこと
川原 允 議員

今 年度は2015年に策定した、子ども子育て支援計画第2期の最終年度です。10年間の総括として成果と課題は。

町長 希望をかなえるあたたかな出産、子育て支援が基本理念です。

子育て支援総合窓口として子育て世代包括支援センターを開設しています。令和5年度1年間で延べ

728件の相談があり、専門職員が相談支援にあたっています。今後、0歳児の受け入れや一時保育が課題であった保育園は機能充実のための前向きな統合や町立の発達支援センターの開設を進めていきます。

質問 こども基本法ではこども施策にはこども・若者の意見を幅広く聴取して

質問 ヒグマは数年の間に道内各地で頻繁に人の生活域へ出現するようになっていきます。ヒグマ対策の基本的な考え方は。

町長 過去に糞、足跡、食害などの目撃情報をマップにまとめています。出没

いることから、クマの移動経路上に電気柵を設置することが効果的であり、関係機関も含めて検討を進めていきます。

万が一出没した場合には人身被害の防止を最優先に積極的な捕獲をしなければなりません。緊急時の対応については猟友会や警察等の関係機関と事前準備を進めていきます。

文化財登録を観光振興の契機に

町長 町全体での取り組みとなるよう、積極的に検討する



2024年2月には町民の団体が観光業者や地元の住民を招いて町の歴史や文化を学ぶモニターツアーを行いました

郷 土資料館の馬具が登録有形民俗文化財に認定されたことを受け、町長は「体験型の観光にも取り入れていきたい」と発言しています。また、第8次総合振興計画にも体験型・滞在型の観光を推進すると記載されています。観光の在り方について具体的な考えは。

町長 住民自らが主役となっておもてなしができるローカルツーリズムを基本とした観光スタイルを考えたいです。具体的には農業体験の魅力化に期待しています。また、注目を浴びている馬具などの文化財を当然、今後の観光資源として活用したいと考えています。

質問 住民自らが主役となるよう、町として働きかけをしていく考えとありますか。

町長 その通りです。馬そりや馬耕の体験など馬具を中心にした体験型の観光を町民の皆さんが考えられています。それらを活かしながら、民泊なども連携し、鷹栖のよさを体感してもらいたいと考えています。

質問 馬具の所有者は町です。町の方からも相談して進めては。

町長 観光シーズンに向け、具体的な案はありませんか。

町長 教育委員会の方でこれから住民の皆さんと検討して、魅力あるコンテンツに仕上げていきたいと考えています。



かたやま ひょうえ
片山 兵衛 議員

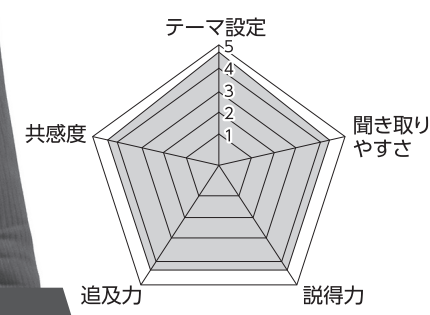
質問 増加している郷土資料館の来館者に、少しでも長く町内に滞在してもらう方法を考えるべきでは。

町長 資料館に町内の店舗のパンフレットを置くことなどはすぐに実行できます。逆に店舗側が資料館の宣伝をすることもできるのでは。

町長 資料館を介してのPRは教育委員会とも連携し対応します。各事業者にも協力してもらうことは非常に重要な視点です。町全体での取り組みとなるよう、積極的に検討します。

質問 実際に町に足を運んでもらう方法として、ふるさと納税に体験型の返礼品を導入する考えは。

町長 体験型の視点も入れつつ、最適なアプローチを研究していきます。



質問 鷹栖町にも観光拠点がありますが、線としては結ばれていません。点と線につながるための人材の育成が望まれる時期に来ているのでは。

町長 観光に関する集落支援員を配置する方法も考えられるのでは。

町長 観光の在り方や人材や体制について観光協会と協議を行い取り組みを進めていきます。



町内会の課題解決に支援を

町長 方法論を含め皆さんの意見を聞いて進めていきたい



各地区のまちづくり懇談会でも地域の課題についてヒアリングを行っています

中 中央・北斗・北成地区で策定された地域づくり計画では、町内会組織には触れられていません。町内会の適正規模をどう考えていますか。また、統合・再編があった場合、会館をどのようにしていかうと考えていますか。

町長 地域の主体的な判断に基づく統合・再編を支援していきます。会館の課題については、行政としての対応方針を研究・検討しています。

質問 対応方針はいつごろまでに出す予定ですか。

町長 できるだけ早くと考えていますが、もう少し時間をかけ、判断する材料を集めてから最終的に決めていく考えです。

質問 歩道と車道の間の除草について、過去2度質

問していますが、改善されたようには見えません。原則は道路管理者の問題ですが、この除草を集落の共同取組とすることは出来ませんか。

町長 地域主体で自主的に取り組んでいる町内会を引き続き支援します。

質問 助成金が出ているのは市街地の町内会だけです。市街地以外の町内会にも支援する考えは。

町長 町民憲章の最初は「自然を育て、きれいなまちをつくりましょう」です。鷹栖町はきちんと管理されていると思うよう、主要路線だけでも行う考えは。ほかの町村に比べても鷹栖町は非常にきれいだと思っていますが、地域の力を借りながら、今以上にしっかり進めていきたいと考えています。

問は、

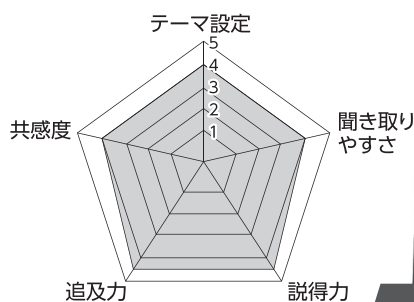
質問 集落支援員は集落の課題を解決するために配置されています。

町長 北野・鷹栖地区の大きな課題は都市計画の調整区域で、地域発展の阻害要因と考えます。どのように集落支援員に伝え、どのように解決していくかと考えていますか。

町長 市街化調整区域は集落支援員の業務とは分野や性質が異なるため、業務として依頼することはありません。町としては、引き続き必要な対策を検討していく考えです。

質問 私が聞いた方々は「調整区域は要らない」という人ばかりです。

町長 アンケート調査は行いませんが、地域運営組織は自分たちの地区を良くするため、課題を解決する方策を考える場所です。その中で皆さんの意見を伺い、方法論も含めて進めていく考えです。



はやしかわ しんじ 議員 林川 伸二

メモ 歩道と車道の間の除草について1回目は「ボランティアによる対応」、2回目は「ひどい所を教えてください」と回答されています(林川)

町政3期の実績と次期への意向は

町長 実績を基に今後も現職を担っていききたい



あったかファーム開設から7年間で32名の担い手農業者が生まれています

町 政3期目の実績と成果を伺います。
移住定住施策における鷹栖市街地の活性化と農村地域のコミュニティ維持については。

町長 生産年齢人口、若者の確保に向け、移住定住する方への住宅建築費・改修費の補助制度を拡充・継続しました。制度を活用した転入・定住者は10年間で853名となりました。
鷹栖北町内市街地への公設民営の商業施設について

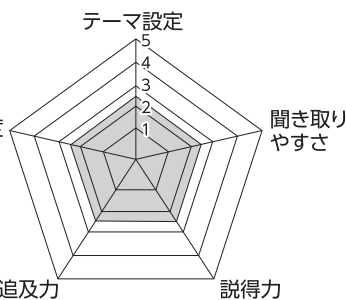
質問 農業の振興、次世代に繋げていく担い手農家の育成についての対策は。
町長 あったかファームを核として農業者育成に取り組みました。農業者が主体的に地域農業の在り方を考えることを推進し、農地基盤整備事業も遂行しました。スマート農業の実現により若い担い手農業者が活躍しており、大きな成果と感じています。

質問 水田活用交付金事業の厳格化、畑地化の対応として、水稲以外の高収益作物の検討の考えは。
町長 きゅうり・トマトなどの園芸作物のほか、麦・大豆や減農薬として付加価値を付けたお米への取り組みも有効と考えます。

は、町の機構体制を強化し、一層のスピード感をもって取り組んでいきます。
町長 農村コミュニティの維持発展に向け、鷹栖町版CCRC構想の考え方を踏襲し、農村環境を守り育てていきます。

質問 教育・子育て支援、高齢者の福祉への対策、実績については。
町長 子育て世代包括支援センターを開設し、専門職員の複数配置を実施しました。また、産婦人科、小児科オンラインの開設により、常時相談体制を充実させました。
鷹栖・北野保育園を統合し、0歳児保育の随時受入れや一時預かり保育の体制を充実させます。
高齢者福祉は、社会福祉協議会、地域運営組織との連携を図り進めています。
高齢者の住居に対する課題には、公営住宅の整備や、健康寿命を延ばす取り組みを継続的に進めていきます。

質問 次期町長選への意向は。
町長 3期12年の経験と成果を生かし、町民の皆様の幸福度を満たせるよう、任期満了後もこの職務を継続したいと考えています。
新たな挑戦も含め、町民の皆さんと共に歩みを進めていきたいと考えています。



ふなね てるよし 舟根 輝好 議員

広聴 広報

北海道町村議会 広報コンクール 特選
第41回に続き2度目の受賞



特選を受賞した193号

議会広報コンクールとは

北海道町村議会議長会が住民のために役立つ議会広報として広報技術の向上に資するため優秀な議会報を表彰しています。

読者を意識した紙面構成や企画編集能力が審査の基準となります。

11名の議員が常任委員会に所属し、広報広聴活動を行っています。

定例会ごとに発行するユニークなチラシや町民が多く登場する議会だより「孔雀草」。

さらには一般質問の通信簿や年一回の休日議会の開催など、議会活動の活性化に努めたことが評価されたと思います。(大石)



鷹栖町議会『孔雀草』No.193 (12月定例会号) 講評

トップ記事は過去最高の傍聴者数を記録した土曜議会。折り込みチラシをはじめ多様な広報媒体が地域の人たちの行動変容を実現しています。

今回の記事はさらに多くの人たちを議会活動への関心、傍聴行動に結びつける好循環のきっかけになると思われます。追跡レポートは議会活動がまちにもたらしたアウトカムが示され、議会の存在意義が伝わる記事です。また、「議会報を読んで語ろう会」の開催や広報広聴の目指す姿は“まちの未来”を考える議会の姿勢が感じられます。



広報広聴活動の様子をテレビ北海道「けいナビ」で取材していただきました。放送はYouTubeでもご覧いただけます。

議会報を読んで語ろう会

場所 四季の里 休憩室

次回開催 8月9日(金)

CAFE OPEN 語ろう会
13:00- 13:30 - 15:30

一緒にまちづくりしませんか?



昨年は鷹栖・北野地区で開催しました。コーヒーやジュース片手に議会報を読みながら、まちづくりについて語りませんか? 議会を動かすのはあなたの想いです。

経済福祉

高齢者福祉を考える
担当課との勉強会やヒアリング実施

6/6

今後の介護保険事業の計画と課題について第9期鷹栖町介護保険事業計画をもとに健康福祉課よりレクチャーを受けました。

計画の基本理念は「高齢者が住み慣れた地域で生涯元気で安心して暮らし、いきいきと活動できる共生社会」です。

目的を達成するために今後、在宅支援サービスの充実や住環境の整備による一人暮らし住まいの確保が重要であることを再確認しました。

介護施設や在宅支援を担う人材の確保も大きな課題であり、外国人材の確保やトイレ介助ロボットをはじめICT活用推進の取り組みについて現状を確認しました。

7/16



「高齢者介護・福祉の現状・課題・展望」と題し、さつき会 波瀾施設長より情報提供いただきました。

介護予防から看取りまで途切れのない地域包括ケアを継続していく上で、施設の老朽化対策や介護人材の確保に向け、貴重な情報交換の場となりました。



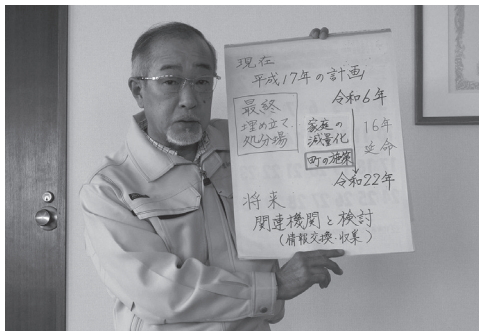
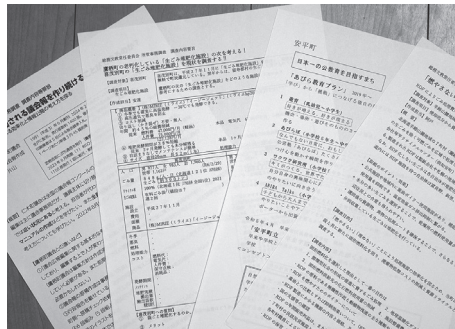
総務文教

所管事務調査に向けた事前勉強会を開催

総務文教常任委員会では7月25日から26日の所管事務調査に向けて、事前勉強会を開催しました。

委員会の調査テーマである「ごみ問題」「学校教育」に合致した調査候補地を1カ月ほどかけて挙げ、それぞれについて手分けしてインターネット上の情報からレポートを作成しました。勉強会では、これを確認しながら、実際に訪れた際の見べきポイントなどを共有し、所管事務調査に備えました。

作成したレポート(写真上)をもとに、担当委員が調査項目をプレゼンし(写真下)、鷹栖町の課題や調査地への理解を深めました。



調査内容の詳細は次号の議会報やSNSでお知らせする予定です。

次は「部活動の地域移行」を追跡調査

道内所管事務調査

コロナ禍を経て、6年ぶり実施!

先進地を視察し、まちづくりを活かします。SNSでも随時活動を発信しています。



総務文教常任委員会
日程：7月25日～26日

日本一の公教育を目指す安平町、廃棄物の再資源化施設のある倶知安町、リサイクル率の高い喜茂別町を調査しました。

経済福祉常任委員会
日程：8月27日～28日

岩見沢市ではスマート農業の推進や自動運転EVバスを。沼田町では加工用トマトの推進や秩父別町では屋内外遊具施設ちっくるを視察します。



どうなった? あの質問



一般質問のその後を追跡!

今回、追跡するのは
2023年12月桑原議員の質問

193号
9頁



中学校部活動の地域移行 総合型地域スポーツクラブとの関連性

教育長

2025年度までにしっかりと進める

質問

中学校部活動の地域移行に向けたアンケートの結果と今後の課題は。

質問

誰もが生涯にわたり、さまざまな運動を楽しむことを目指す総合型地域スポーツクラブとの関連性は。

答弁

種目のニーズとの不一致、送迎などが課題です。

答弁

最終的には総合型地域スポーツクラブを受け皿にしていきたい。

いま 「NexusBC」始動 バドミントン地域クラブ

2023年度は中学校や指導者、保護者と検討委員会を開催し、「鷹栖町休日部活動の段階的な地域移行計画」を策定しました。

種目から地域クラブへと移行します。
2024年度はバドミントンの地域クラブ「NexusBC」(ネクサスビーシー)を設立し、4月から、土日の学校部活動を移行しました。

たかす総合型地域スポーツクラブを運営主体として、指導者や練習場所など環境が整えられた



スポンジのボールを使いテニスのように打ち合うスポレックという新スポーツも体験できます

「中学生も一緒に身体を動かそう」

Interview Takasu

たかす総合型地域スポーツクラブ

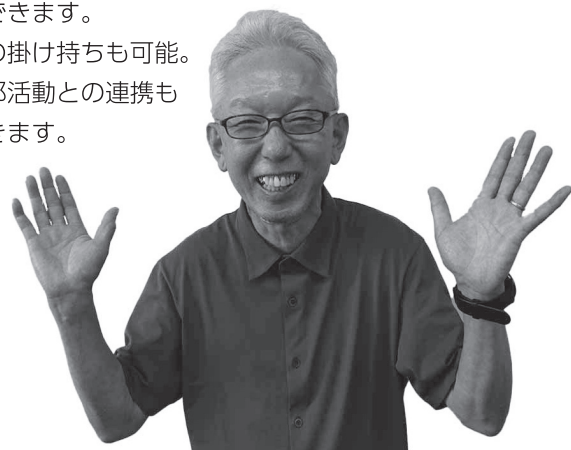
地域おこし協力隊 丸山 諭さん (鷹栖)

中学生が体を動かす心地よさやスポーツの楽しさを感じる遊び場「ゆるスポーツクラブ」を作りました。バレーや卓球など多様なスポーツを自ら選んで体験できます。

部活動との掛け持ちも可能。

これから部活動との連携も

図っていきます。



部活動の地域移行とは

公立中学校において、休日の運動部の部活動の指導を教員から外部の団体に移行する改革で、2023年度から始まりました。
文部科学省は、2025年度までに段階的に移行を進める方針です。



ゆるスポーツクラブは毎週月曜日 16時～18時 総合体育館
隔週土曜日9時～11時 BG体育館



議会のうごき

2024年 2024年
3月29日 ▶ 7月15日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	3回
議会運営委員会	3回
各常任委員会	7回



SNSで活動
報告を行っ
ています

【欠席状況】

舟根	広報広聴 (6/24・7/5・7/12)
青野	広報広聴 (6/24)
林川	議員研修 (7/2)
安達	広報広聴 (7/5)
佐竹	広報広聴 (7/5)

鷹栖町防災会議の委員構成が地域運営組織と学識経験者から任命されることに変更されました。

防災会議に女性委員を増やすよう斎藤議員が一般質問しています。

194号
17頁

条例
委員構成変更

第2回臨時会

PICK UP!! 臨時会
審議結果を解説

第2回臨時会 3/29

第3回臨時会 5/31

第3回臨時会
国民健康保険税 税率の一部改正

条例
2030年度からの統一に向け
所得割医療分・介護分引き上げ

北海道が示す市町村標準税率に近づける運営方針に基づき、国民健康保険税率の一部を改正しました(下表参照)。

補正
不足分、
基金繰り入れ

国保会計補正予算(1回目)

林川議員
2023年度は物価高騰を考慮して医療分所得割を据え置きしていました。今年度、引き上げる理由は。

答弁
物価高は続いていますが、2030年に急激な負担上昇を避けるため、今回税率を一部上げる提案をしています。

加入者の減少による保険料の歳入減額に伴い、国保財政調整基金繰り入れを行います。今回の補正予算で残高は6924万円になりました。

歳入 804万円

次はわたしの一言 / 第3回定例会ご案内

気象予報士の森朗氏には「札幌が東京より暑くなる(加速する気候変動)」と題して激しい気候変動により起こる災害に各自治体が防災対策を考える必要性があると講義頂きました。

議員研修レポート(全道議員研修会) 7/2

元衆議院議長の大島理森氏には「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」と題して衆議院議員時代の40年余りの貴重なお話を聞かせて頂きました。(坂根)



2024年度の税率
(2023年度の税率)
[2030年度目標税率]

改正した保険料と昨年度の保険料、北海道が示す2030年度の目標税率を見比べることができません。



応能割	所得割 前年中の所得に 応じて計算	医療分	後期高齢者 支援分	介護分 (40~64歳)
		7.1% (6.9%) [8.91%]	2.7% (2.7%) [2.75%]	2.0% (1.9%) [2.02%]
応益割	均等割 国保加入者1人 につき	25000円 (24800円) [28665円]	9100円 (8900円) [9264円]	9000円 (8800円) [9172円]
		平等割 1世帯につき	25300円 (25100円) [29012円]	9200円 (9100円) [9376円]

事業者との契約は完了しました。しかし、他市町村でも一斉に空調設備を整備することから、機材不足により今夏までに町立学校分の設置が間に合わないことがわかりました。

協議会では現状の設備での熱中症対策を進める意見が出ました。

町立学校のエアコンの設置について
議員協議会で説明



契約
小中学校エアコン
整備を契約
1億9030万円

町立学校へのエアコンの設置完了は2025年春を予定しています。





鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。

14年前から始めた油絵
公募展で入賞するなど活躍中



もとゆき
坂本 元遵さん(中央地区)



山々

パレットヒルズから望む、十勝連峰、大雪山連峰、その威風堂々たる山体と稜線、この稜線を眺望できる公園は中々無いと思う。向かって南の富良野岳から始まり、十勝岳、美瑛岳、オプタテシケ山、トムラウシ岳、忠別岳、旭岳、愛別岳、黒岳、そしてニセイカウシュッペ山と。この間が層雲峡。

私は絵を描きますが、モチーフがそれら大雪山系だ。厳しい冬も夏の猛暑や荒天のときも、威風堂々とそびえる。また雪解けとともに町内には、たくさんのハクチョウがユーラシアへの旅立ちのための羽休めで賑わい、周囲の林には、同じくユーラシアへの羽休めに、オジロワシの雄姿も見ることができる。

春には近隣市町村で、桜と言えば旭山か鷹栖のパレットヒルズと言われている。そんな自然豊かな鷹栖町が誇りだ。

この町は人がおもしろい

私は25年以上にわたり、重心バランスを基にした身体の使い方と東洋医学を研究している鍼灸師であり、武術家でもあります。

そんな私が所属するオサラッペまちづくり研究会では、今年6月に当麻町の郷土資料館を見学してきました。既存の施設を活用する方法として非常に参考になりました。

また1978年まで稼働していた水力発電所跡もとても印象的でした。高低差が少ない中での発電技術に驚かされました。「地元の知恵と工夫がぎゅっと詰まっているなあ」とただ感心してしまいました。

鷹栖町について知れば知るほど、この町は人が面白いと感じています。町の人々のストーリーに焦点を当てる企画も面白そうですね！

これからもオサラッペまちづくり研究会の活動を通じて、鷹栖の魅力を掘り起こし、地域の活性化に貢献していきたいと思っています。

はじめ鍼灸整骨院 院長
身体の悩みを読み解く鍼灸師



はじめ
平山 創さん(中央地区)



次回の定例会は〈決算審査〉

9月18日(水) ▶ 20日(金)

- 日程は変更になる場合があります。
- 役場ロビーとはぴねすで中継を予定しています。

《クイズ応募方法》3ページのクイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。こうしたらいののではというアドバイスもいただければ幸いです。

《しめきり》2024年8月31日(土)消印有効
ご記入いただきました個人情報、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

《前回のクイズの答え》

問1 72.6 問2 200 問3 フリースクール

